

鹿児島県から得られたイサキ科エリアカコショウダイ *Plectorhinchus schotaf* の記録

畑 晴陵¹・藤原恭司²・高山真由美³・本村浩之³

¹ 〒 890-0065 鹿児島県鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学総合研究博物館 (水産学部)

² 〒 759-6595 山口県下関市永田本町 2-7-1 水産大学校海洋生産管理学科

³ 〒 890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

はじめに

イサキ科 Haemulidae は日本近海には 5 属 20 種が分布しており (島田, 2013), このうち 11 種がコショウダイ属 *Plectorhinchus* に含まれる (島田, 2013). *Plectorhinchus schotaf* (Walbaum, 1792) は紅海から得られた標本に基づき *Sciaena scotaf* として新種記載された (Fricke, 2008; 島田, 2013). 蒲原 (1937) は高知県から得られた全長 470 mm の魚を *P. griseus* (Cuvier and Valenciennes) として日本における初めての記録を報告し, 同時に本種に対して標準和名ナンヨウコタイを提唱した. その後, Kamohara and Yamakawa (1967) は沖縄島から全長 343 mm の 1 個体をナンヨウコタイの和名とともに *P. schotaf* として報告した. しかし, 蒲原 (1937) と Kamohara and Yamakawa (1967) のナンヨウコタイは体側と頭部に多数の橙色斑点があることからオシャレコショウダイ *P. flavomaculatus* (Cuvier, 1830) と思われ, *P. schotaf* とは別種である. さらに, Kamohara (1958) は *P. schotaf* を高知県から, 蒲原 (1960) と財団法人海中公園センター八重山研究所 (1971) は高知県沖ノ島付近から報告しているが, 詳細な記載はなく, これらの記録が *P. schotaf* または *P. flavomaculatus* のどちらを指すのかは, 不明である. その後, *P. schotaf*

は, 赤崎 (1984) によって土佐湾と琉球列島から報告され, その際に新たな標準和名エリアカコショウダイが提唱された. 畑ほか (2012) は鹿児島県のイサキ科とシマイサキ科の魚類相を標本に基づいて報告したが, *P. schotaf* は記録されていない. したがって, 現在エリアカコショウダイの国内における分布は土佐湾と琉球列島とされている (赤崎, 1984; 島田, 2013).

2013 年 9 月 7 日に種子島沖から 1 個体, 同年 9 月 9 日に馬毛島沖で 2 個体, 計 3 個体のエリアカコショウダイが採集された. これら大隅諸島から採集された標本は鹿児島県における本種の標本に基づく初めての記録となるため, ここに報告する.

材料と方法

計数・計測方法は Satapoomin and Randall (2000) にしたがった. 標準体長は体長と表記した. 計測はデジタルノギスを用いて 0.1 mm まで行った. エリアカコショウダイの生鮮時の体色の記載は, 固定前に撮影された鹿児島県産の 3 標本 (KAUM-I. 56206, 56209, 56899) のカラー写真に基づく. 標本の作製, 登録, 撮影, 固定方法は本村 (2009) に準拠した. 本報告に用いた標本は, 鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM: Kagoshima University Museum) に保管されており, 上記の生鮮時の写真は同館のデータベースに登録されている.

結果と考察

Plectorhinchus schotaf (Walbaum, 1792)

エリアカコショウダイ (Fig. 1; Table 1)

Hata, H., K. Fujiwara, M. Takayama and H. Motomura. 2014. First records of *Plectorhinchus schotaf* (Perciformes: Haemulidae) from Kagoshima Prefecture, southern Japan. *Nature of Kagoshima* 40: 53-57.

☑ HM: Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).



Fig. 1. Fresh specimens of *Plectorhinchus schotaf*. A, KAUM-I. 56899, 348.1 mm SL, off Mage-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan; B, KAUM-I. 56206, 217.2 mm SL, off Tanega-shima island, Kagoshima Prefecture, Japan.

標本 KAUM-I. 56206, 体長 217.2 mm, 鹿児島県熊毛郡中種子町星原浜津脇沖 (30°33'N, 130°55'E), 2013年9月7日, 刺網, 高山真由美; KAUM-I. 56209, 体長 360.0 mm, 鹿児島県大隅諸島馬毛島沖 (30°35'N, 130°41'E), 2013年9月

9日, 巻網, 高山真由美; KAUM-I. 56899, 体長 348.1 mm, 鹿児島県大隅諸島馬毛島沖 (30°48'15"N, 130°49'38"E), 2013年9月9日, 巻網, 高山真由美.

記載 計数形質と体各部の体長に対する割合を Table 1 に示した。体は楕円形で側扁する。吻端は丸く、唇は厚い。口裂は小さく、主上顎骨後端は眼窩前縁直下に達する。下顎腹面には 3 対の感覚孔をそなえる。眼の下縁は吻端よりも上方に位置する。眼および瞳孔はそれぞれ円形。鼻孔は 2 対で、前鼻孔と後鼻孔は互いに近接し、眼の前縁前方に位置する。総排泄孔は体の中央より後方に位置し、臀鰭起部直前に開孔する。胸鰭後端は背鰭第 9-10 棘条起部直下に位置する。背鰭軟条

部および臀鰭軟条部の基底は鱗で被われる。背鰭後縁は丸みを帯びる。臀鰭起部は背鰭第 7 軟条起部直下に位置する。臀鰭後縁は丸みを帯びるが、ややとがる。腹鰭は腋鱗をそなえる。腹鰭はたたむと、後端は背鰭第 3 軟条起部直下に達する。前鰓蓋骨後縁は鋸歯状。背鰭中央部に深い欠刻はない。尾鰭後縁はわずかに湾入する。鰓耙は細長い。側線は胸鰭起部上方から始まり、背鰭第 1 軟条起部直下付近で緩やかに下降し、尾柄部で直走し、尾鰭基底付近で終わる。体は細かい櫛鱗に被われ

Table 1. Counts and measurements, expressed as percentages of standard length, of *Plectorhinchus schotaf*.

	off Tanega-shima island		off Mage-shima island		Means
	KAUM-I. 56206		KAUM-I. 56209	KAUM-I. 56899	
Standard length	217.2		360.0	348.1	
Counts					
Dorsal-fin spines	12		12	12	
Dorsal-fin rays	19		19	19	
Anal-fin spines	3		3	3	
Anal-fin rays	8		8	8	
Pectoral-fin rays	17		17	17	
Pelvic-fin spines	1		1	1	
Pelvic-fin rays	5		5	5	
Lateral-line scales	54		55	55	
Transverse scales above lateral line	21		21	21	
Transverse scales below lateral line	24		24	24	
Gill rakers (upper)	10		10	11	
Gill rakers (lower)	16		16	15	
Gill rakers (total)	26		26	26	
Measurements (% SL)					
Greatest body depth	44.2		42.5	41.9	42.9
Body width	16.5		15.3	16.7	16.2
Head length	28.8		26.4	27.5	27.6
Snout length	11.2		12.3	11.7	11.7
Orbit diameter	8.2		6.3	6.9	7.1
Pupil diameter	3.8		3.0	2.7	3.2
Interorbital width	10.2		8.8	9.7	9.6
Suborbital depth	6.4		5.9	6.2	6.1
Preorbital width	7.0		7.4	7.6	7.3
Caudal-peduncle depth	13.0		12.7	12.4	12.7
Caudal-peduncle length	20.3		17.8	18.6	18.9
Pre-dorsal-fin length	23.3		36.1	36.9	32.1
Pre-anal-fin length	68.2		66.7	69.8	68.2
Pre-pelvic-fin length	37.7		36.1	35.2	36.3
Upper-jaw length	8.9		8.2	8.9	8.7
First dorsal-fin spine length	4.2		4.2	4.6	4.3
Longest dorsal-fin spine length	13.4		13.1	13.3	13.3
Longest dorsal-fin ray length	11.3		10.1	9.6	10.3
Spinous dorsal-fin base length	33.5		31.4	31.9	32.3
Soft dorsal-fin base length	34.0		32.0	32.9	33.0
First anal-fin spine length	4.0		2.5	3.0	3.2
Second anal-fin spine length	16.0		12.0	13.7	13.9
Third anal-fin spine length	13.4		10.8	11.9	12.0
Longest anal-fin ray length	12.4		10.8	10.3	11.2
Anal-fin base length	14.3		14.0	13.9	14.1
Caudal-fin length	18.7		17.4	16.6	17.6
Longest pectoral-fin ray length	17.4		17.2	17.4	17.4
Pelvic-fin length	22.4		20.8	21.3	21.5
Pelvic-fin spine length	12.1		11.1	11.4	11.5

る。頭頂部の鱗域の先端部はくさび形をなし、前鼻孔前縁に達する。両顎歯は細かく、絨毛状。鋤骨に歯はない。

色彩 生鮮時の色彩 — 体側上部は暗いウグイス色で、体側および腹面は灰色がかった白色。背鰭棘条、背鰭軟条はウグイス色で、鰭膜は緑がかった黒色。胸鰭は黒色で、後縁は橙色で縁取られる。胸鰭起部に黒色斑を有する。腹鰭は黒色で、前縁は白色。臀鰭は一樣に黒色。鰓蓋後縁上部は暗赤色で縁取られる。眼は明るい橙色で縁取られる。瞳孔は青みがかった黒色で、黄色で縁取られる。固定後の色彩 — 体背面および各鰭は一樣に黒褐色となり、体側および体腹面は暗い灰褐色となる。

分布 日本国外では南アフリカと紅海からオーストラリア北岸、北マリアナ諸島にかけてのインド・西太平洋に分布する (Kimura and Peristiwady, 2000; McKay, 2001)。国内では土佐湾と琉球列島 (赤崎, 1984; 島田, 2013)、および種子島と馬毛島 (本研究) から記録されている。

備考 これらの標本は、背鰭棘条数が 12 であること、背鰭軟条数が 19 であること、下顎腹面に感覚孔を 6 つ有すること、下顎正中線に溝がないことなどが McKay (2001) の報告した *Plectorhinchus* の標徴と一致した。また頭部と尾鰭が一樣に暗色であること、背鰭中央部に顕著な欠刻がないことなどの特徴が McKay (2001) や島田 (2013) の報告した *Plectorhinchus schotaf* の標徴と一致したため、本種と同定された。

エリアカコショウダイの鹿児島県での採集記録は、これまでの国内における本種の分布の空白域を埋めるものであり、本種が土佐湾から琉球列島にかけて連続的に広く分布することを示唆する。

なお、*Sciaena schotaf* の原記載は、従来 Forsskål (1775) とされてきたが (Johnson, 2000; McKay, 2001)、Forsskål (1775) は *schotaf* を *Sciaena gaterina* のアラビア語名として記述しており、*Plectorhinchus schotaf* が *Sciaena schotaf* として初めて記載されたのは Walbaum (1792) である (Fricke, 2008)。

■ 謝辞

本報告を取りまとめるにあたり、原口百合子氏をはじめとする鹿児島大学総合研究博物館ボランティアの皆さまと同博物館魚類分類学研究室の皆さまには適切な助言を頂いた。標本の採集に際しては、種子島漁協に多大なご協力を頂いた。以上の方々に謹んで感謝の意を表す。本研究は、鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部は JSPS 科研費 (19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265)、JSPS アジア研究教育拠点事業「東南アジアにおける沿岸海洋学の研究教育ネットワーク構築」、JSPS 若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム「熱帯域における生物資源の多様性保全のための国際教育プログラム」、総合地球環境学研究所「東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティの向上プロジェクト」、国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」の援助を受けた。

■ 引用文献

- 赤崎正人. 1984. ナンヨウコタイ (エリアカコショウダイ), p. 167, pl. 160-F. 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 (編). 日本産魚類大図鑑. 東海大学出版会, 東京.
- Forsskål, P. S. 1775. Descriptiones animalium avium, amphibiorum, piscium, insectorum, vermium; quae in itinere orientali observavit Petrus Forsskål. Prof. Haun. Post mortem auctoris editit Carsten Niebuhr. Adjuncta est material medica Kahirina atque tabula maris rubric geographica. Möller, Hauniae. 20 + xxxiv + 164 pp., 1 map.
- Fricke, R. 2008. Authorship, availability and validity of fish names described by Peter (Pehr) Simon Forsskål and Johann Christian Fabricius in the 'Descriptiones animalium' by Carsten Niebuhr in 1775 (Pisces). Stuttgarter Beiträge zur Naturkunde. Serie A (Biologie), Neue Serie. Stuttgarter Beiträge zur Naturkunde A, Neue Serie, 1: 1-76.
- 畑 晴陵・原口百合子・本村浩之. 2012. 標本に基づく鹿児島県のイサキ科とシマイサキ科魚類相. Nature of Kagoshima, 38: 19-38.
- Johnson, J. 2000. Haemulidae (sweetlips and grunts), p. 619 in J. E. Randall and K. K. P. Lim (eds.). A checklist of the fishes of the South China Sea. The Raffles Bulletin of Zoology, Supplement (8): 569-667.
- 蒲原稔治. 1937. 土佐産魚類の 9 稀種. 動物学雑誌, 49 (12): 424-429.
- Kamohara, T. 1958. A catalogue of fishes of Kochi Prefecture (Province Tosa), Japan. Reports of the Usa Marine Biological Station, 5 (1): 1-76.

- 蒲原稔治. 1960. 高知県沖ノ島およびその付近の沿岸魚類. 高知大学学術研究報告 9 (自然科学 I), (3): 15–30.
- Kamohara, T. and T. Yamakawa. 1967. On some fishes from the waters of Okinawa and Yaeyama. Reports of the Usa Marine Biological Station, 14 (1): 1–17.
- Kimura, S. and T. Peristiwady. 2000. Haemulidae, pp. 234–239 in K. Matsuura, O. K. Sumadhiharga and K. Tsukamoto (eds.). Field Guide to Lombok Island: Identification guide to marine organisms in seagrass beds of Lombok Island, Indonesia. Ocean Research Institute, The University of Tokyo, Tokyo.
- McKay, R. J. 2001. Haemulidae, pp. 2961–2989, pls. XIII–XV in K. E. Carpenter and V. H. Niem (eds.). FAO species identification guide for fishery purposes. The living marine resources of the western central Pacific, vol. 5. Bony fishes part 3 (Menidae to Pomacentridae). FAO, Rome.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp. (<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html>)
- Satapoomin, U. and J. E. Randall. 2000. *Plectorhinchus macrospilus*, a new species of thicklip (Perciformes: Haemulidae) from the Andaman Sea off southwestern Thailand. Phuket Marine Biological Center Research Bulletin, 63: 9–16.
- 島田和彦. 2013. イサキ科, pp.940–945, 2008–2011. 中坊徹次 (編). 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- Walbaum, J. J. 1792. Petri Artedi sueci genera piscium. In quibus systema totum ichthyologiae proponitur cum classibus, ordinibus, generum characteribus, specierum differentiis, observationibus plurimis. Redactis speciebus 242 ad genera 52. Ichthyologiae pars III. Ant. Ferdin. Rose, Grypeswaldiae. i–viii + 1–723, pls. 1–3.
- 財団法人海中公園センター八重山研究所. 1971. 海中公園センター調査報告 高知県海中公園計画学術調査書. 財団法人海中公園センター, 東京. 122 pp.